

# 持続可能な私たちのやさしい未来のために 感謝して大切にしたい“水”“伝統”そして“人”

企画・制作 / 中日新聞広告局

ウガンダの子どもによる

## ゴスペルコンサートが 名古屋にやってきます!

“WATOTO(ワトト) 希望のコンサート”

11日(土)は、私、原田さとみも司会でお手伝いいたします。ぜひお越しください!

**9月11日(土)・12日(日)開催!**

WATOTO(ワトト)とは、スワヒリ語で「子どもたち」という意味。ウガンダでは内戦やエイズの流行で孤児となった子どもが200万人以上いるとされています。ワトトのメンバーも全員が親を失うという悲劇を体験してきましたが、絶望の中から生きる希望を見出し、その喜びを伝えようと1994年から世界ツアーを行ってきました。素晴らしい歌声、躍動感溢れる踊り、かわいらしい子ども達の表情、また映像を交えた体験談は、コンサートに来てくださるすべての方に希望と感動を与えてくれることでしょう。

**9月11日(土)14:30~**  
金城学院大学ランドルフ記念講堂  
**9月12日(日)19:00~**  
在日大韓基督教会 名古屋教会  
【チケット前売り券】  
一般/¥1500 高校生以下/¥1000  
幼児/無料

お問合せ:TEL 052-731-8111  
(日本国際航路対策機構 愛知事務所)  
<http://www.watoto.jp>

\*3「フェアトレード」とは…途上国の弱い立場にある生産者に対して公平な条件での貿易を継続的に、経済的な自立を支援することで、貧困問題の解決や、文化・伝統・環境を守ることができる国際貿易です。例えば、日本の子ども達が大好きな甘いチョコレートの中には、カカオ農園で働かされている貧困国の子ども達が存在します。そんな不平等をなくそうというのがフェアトレードです。消費者の意識が変われば世界から貧困を削減することができます。お買い物で国際協力!世界は変わります。

原田さとみ (タレント/エシカル・コーディネーター)

環境負荷をかけず、人道的で、持続可能な・地球にも人にも優しい「エシカル・ファッション」のコーディネイトや、途上国の貧困撲滅を目指す「フェアトレード」の普及活動、JICA中部なごや地球ひろばサポーターとして、親子向けの読み聞かせイベント「世界と出会う絵本ひろば」の企画・運営など、多方面で活躍中。名古屋の美味しいお水に感謝して「コップなごや水基金」<http://cupnagoya.org>を設立・運営。

原田さとみ主宰  
「世界と出会う絵本ひろば」絵本の読み聞かせの会は、8月28日(土)午後2時からJICA中部なごや地球ひろば1階カフェクロスロードにて開催!  
8月13日から22日まで、JICAサポーターとしてアフリカのエチオピアとルワンダへ渡航中。現地でのJICA協力隊の国際協力活動を視察、森林保全活動・コーヒー豆生産の様子、貧困農村でのプロジェクト、ストリートチルドレン職業訓練工房など見学。帰国したら、みなさんにしっかりお伝えしたいと思います。行ってきますー!

原田さとみブログ <http://satomiharada.com>

「ウエスティンナゴヤキャッスル」さんでも「コップなごや水基金」がレストレン・ティールラウンジで始まり、またーさらに、ティールラウンジではフェアトレードの有機栽培コーヒーの提供を。シヨツ



品を選んで買うことは、地球上のみんなが笑顔になるための近道です。そしてそれを継続することが大事。ぜひ長く丁寧に続けていきたいと思います。よう心から応援します。

参加した子ども達は、実際に

「コップ一杯のお水」に、ありがとうございますの気持ちを込めて。4月から始動中の「コップなごや水基金」。市内の飲食店のテーブルに設置された水基金メッセルカードの上に、無料のお水に対しての寄金を置いていただくというもの。いつものお水にありがたみの感謝の気持ちで、源流である木曾川に思いを馳せて山間部を支援する基金です。

世界では、3秒に1人が貧困のために命を落とし、5人に1人が1日1ドル未満の所得で生活しています。私達が何気なく買っているものの背景には、原産国での生産者たちが犠牲となっていることがあります。商品の背景を考慮してフェアトレードの産品を選んで買うことは、地球上のみんなが笑顔になるための近道です。そしてそれを継続することが大事。ぜひ長く丁寧に続けていきたいと思います。よう心から応援します。

このような環境プロジェクトを推進中のウエスティンナゴヤキャッスルで先日、ホテルの駐車場で「エコパーキング」(※2)へと変身させ、そのセレモニイが開催されました。私も司会でお手伝い。この企画の立案者は名工大・伊藤孝紀准教授。エコパーキングには天然芝による床面緑化、緑化壁、電気自動車充電設備や太陽光発電システムなどが導入され、お客様や地域の皆様に緑あふれる景観を楽しんでいただき、未来へ向けて環境に配慮した街づくりを目指すというもの。



\*2「ウエスティンナゴヤキャッスル」の「エコパーキング」とは…名古屋工業大学・伊藤孝紀研究室と地元企業の最先端環境技術が結集した環境配慮型パーキングのモデル事業。産学連携事業として行う社会的実践的取り組みとして、都市における景観配慮、地域防災、生物多様性の可能性を提案する社会的実践として実施されました。

Activity report

## 02 コップなごや “水”基金

「コップ一杯のお水」に、ありがとうございますの気持ちを込めて。4月から始動中の「コップなごや水基金」。市内の飲食店のテーブルに設置された水基金メッセルカードの上に、無料のお水に対しての寄金を置いていただくというもの。いつものお水にありがたみの感謝の気持ちで、源流である木曾川に思いを馳せて山間部を支援する基金です。



「コップ一杯のお水」に、ありがとうございますの気持ちを込めて。4月から始動中の「コップなごや水基金」。市内の飲食店のテーブルに設置された水基金メッセルカードの上に、無料のお水に対しての寄金を置いていただくというもの。いつものお水にありがたみの感謝の気持ちで、源流である木曾川に思いを馳せて山間部を支援する基金です。



(※1)「まいまい狂言会」からのお知らせ…来年の「まいまい狂言会」は2011年7月23日(土)に第4回名古屋能楽堂にて開催します。来年もぜひ子連れで狂言をお楽しみください。そしてその前にお母さんだけの企画があります。11月2日(火)10時「まいまい和の会」と題してお母さん同士で「和」を愉しむ会を開催します。第1回目は、「徳川美術館を鑑賞し、ウエスティンナゴヤキャッスルでランチ」という内容です。詳しくはこちら。<http://sites.google.com/site/maimaikyougen/>

能楽堂に親子600人の笑顔が咲いた! 狂言は時代を超えて。7月17日(土)に第3回「まいまい狂言(※1)」を無事に開催することができました。子どもたちに本物の伝統芸能を観てほしいと、お母さん達の有志で運営し今年で3年目。私もメンバーとして当日は司会を担当。名古屋能楽堂には600名以上の可愛い親子の客さままで満席。ほほえましい雰囲気の中、親子で大いに狂言を楽しんでい

いただきました。「まいまい狂言会」の顔である和泉流狂言方四世・野村小三郎さんとご子息・信朗君が狂言「井杭」を親子共演。頭巾をかぶると見えなくなるという奇想天外な展開に、会場は大爆笑。狂言の粋なユーモアは時代を超えて現代の子ども達にもしっかりと伝わっていました。



過去と未来をつなぐ、可愛い希望の大使。そして今年も新企画「狂言ロボット」を製作! ロボット専門店「ロボベース」さんの協力、狂言の所作をプログラムした紋付袴のロボット君との夢の共演が実現! 和のなめらかな所作や片足立ちなど、すべてをロボットに再現させるのは想像以上に大変なこと。直前までバランスが保てず転んでいたロボット君に、最後まで念入りに調整し、愛情をかけているエンジニアの方々のけなげな姿がありました。そんなエンジニアさんの知恵と技術と熱意で本番は大成功! ロボット君は見事な舞いを披露してくれました。器用に指を使って扇を開く所作では、会場が「うおー!」

と感嘆の声! 広い舞台上に立つ小さなロボットに、会場の600人の熱い視線が集り、大きな拍手が沸きました! 子ども達は大きな影響を受けたことと思います。日本のロボット技術は世界。そして、モノづくり愛知名古屋が誇る伝統の技にはロボットの先輩「からくり人形」があります。時代は流れて「からくり」から「ロボット」へ。どちらも人の技術が人形に息を吹き込んだすばらしい芸術です。

\*安全でおいしい名古屋のお水は、木曾川流域の方々の知恵とたゆまぬ努力と優しさの賜物です。地球上では飲み水を得ることができずに尊い命が失われています。私たちの命を守ってくれている木曾川の流に感謝して山間部と都市部との交流を大切にしよう。と、原田さとみさんが始めた「コップなごや水基金」の報告や、「フェアトレード」販路拡大のお話。そして7月に開催された「まいまい狂言会」での様子をお伝えします。



Activity report

## 01 まいまい 狂言会

過去と未来をつなぐ、可愛い希望の大使。そして今年も新企画「狂言ロボット」を製作! ロボット専門店「ロボベース」さんの協力、狂言の所作をプログラムした紋付袴のロボット君との夢の共演が実現! 和のなめらかな所作や片足立ちなど、すべてをロボットに再現させるのは想像以上に大変なこと。直前までバランスが保てず転んでいたロボット君に、最後まで念入りに調整し、愛情をかけているエンジニアの方々のけなげな姿がありました。そんなエンジニアさんの知恵と技術と熱意で本番は大成功! ロボット君は見事な舞いを披露してくれました。器用に指を使って扇を開く所作では、会場が「うおー!」